

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)

【ア】環境学習と人材育成

2- . 取組方針

幼児から高齢者まで切れ目のない環境学習機会を提供し、足立区の地域特性を学びつつ、区だけ、東京だけ、日本だけでなく地球的な視野で問題を考え実践行動できる人材を育成し、それぞれの自主的な活動を支援する。また、学習の成果を認定し、活用できるしくみづくりを推進する。

2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容・場所	主体・時期
<p>切れ目のない環境学習プログラム</p> <p>幼児期から小学校、中学校まで一貫したカリキュラムを組み、知識や理解力の段階に応じた環境教育を行う。また、リサイクルセンター、地域学習センター等を拠点にした環境学習プログラムを実施する。実施にあたっては、大学や事業者、団体等と連携する。</p>	<p>主体：区、事業者、団体</p> <p>時期：幼児から大人までの、切れ目のない環境学習プログラムを構築済。あわせて、各施設との連携事業を調整中</p>
<p>環境スペシャリスト養成講座</p> <p>中学生を対象に、環境の講演や最先端の環境施設の見学等を行い、環境問題に興味を持ってもらうことで、未来の環境スペシャリスト育成を目指す。</p>	<p>主体：区、区民</p> <p>時期：平成26年度に7人でスタートした。スペシャリスト認定者のフォローアップも図る。</p>
<p>あだち環境ゼミナール</p> <p>高校生以上を対象とした環境学習講座で、自主的な環境活動を行うリーダー育成と受講生のネットワーク化を図る。修了者は「環境マイスター」に認定する。</p>	<p>主体：区、区民</p> <p>時期：平成26年度には20人程度がマイスターに認証される見込み。</p>
<p>エコ活動ネットワーク足立</p> <p>区内で環境活動・環境に係る事業活動を行う事業者・団体を対象とした登録制のネットワークで、各々の連携や交流促進、区民に環境活動のお知らせや環境意識の啓発を図ることで、区の環境活動の推進を目指す。</p>	<p>主体：区、事業者、団体</p> <p>時期：平成26年度に発足し、60の登録団体でスタート。随時参加事業者募集し、拡大を目指す</p>
<p>生きものや自然に関する学習の充実</p> <p>貴重な自然空間である河川や公園、農地などを利用し都市の自然環境保全や生きものへの関心を高める。</p>	<p>主体：区、区民、団体</p> <p>時期：平成27年度から、新たに舎人公園で実施する。</p>
<p>大学や研究機関、事業者と連携した講座や施設見学の開催</p> <p>環境への関心と理解を深める講座や、清掃工場やリサイクル事業者、エネルギー事業者と連携した施設見学会を開催する。</p> <p>なお、東京電機大学が実施する区内の野菜の特長を科学的に明らかにする研究成果を足立ブランド食品の確立を目指すと同時に、足立区内で生産された野菜の認知度アップと消費量拡大を図り、「フードマイル」を縮める地産地消の取り組みを推進する。</p>	<p>主体：区、大学、研究機関、事業者、団体</p> <p>時期：イベントやあだち環境ゼミナール修了生の活用策の中で、今後検討する。</p>

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)	
【イ】日常における環境配慮行動の推進	
2- . 取組方針	
日ごろの生活や事業活動における実践行動で消費エネルギーを削減する。	
2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項	
取組の内容・場所	主体・時期
省エネノート（環境家計簿） 足立区版環境家計簿でインターネットでも利用できる。3か月の報告ごとにポイントが付与され、たまったポイントに応じてエコグッズに交換できる。	主体：区、区民、事業者 時期：すでに実施中。より効果的で参加しやすい制度とするため、東京電力、東京ガスとの連携を検討議する
環境配慮行動、ボランティアに対するポイント付与 緑のカーテンの設置や森林体験など、環境配慮行動やボランティア活動に対してポイントを付与する。	主体：区、区民、事業者 時期：仕組みを検討する
ペットボトルキャップの回収 46か所のスーパーマーケットの自動回収機でペットボトルキャップを回収している。重量等に応じた環境ポイントを付与し、回収のモチベーションを高める。	主体：区、区民、事業者 時期：平成26年度から小学校参加児童に環境啓発クリアファイルを配布し、参加意欲の向上を図っている
区内産品の優先消費 区内には食品や日用品など生活必需品を製造する事業者が多い。こうした区内で製造された食料品、日用品を積極的に消費することで、「ライフマイル」も削減し、区内製造業の活性化を図る。	主体：区、区民、事業者 時期：仕組みを検討する
商品選択や購入時における環境配慮 グリーン購入やカーボンフットプリント、マイバッグなどを啓発し、商品選択時により環境保全に貢献する商品や方法を選ぶなど「賢い消費者」を育て、広めていく。	主体：区、区民、事業者、団体 時期：マイバック運動の更なる推進とコンビニエンスストアと連携を協議する
区内農産物販売のマルシェの展開 都市農業公園等を活用して、区内にある野菜直売所と提携して足立区内で生産される野菜を販売したり、足立区の伝統野菜である「つまもの野菜」の紹介や普及を図る。	主体：区、JA 時期：仕組を検討する
雨水利用の促進 雨水貯留槽の導入を促進し、水資源の有効活用を図るとともに、豪雨時の一時貯留による洪水防止や災害による断水時にも備える。	主体：区、区民、事業者 時期：平成27年度から、雨水貯留槽単独補助に切り替えて促進

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)

【ウ】技術による省エネ型社会への転換促進

2- . 取組方針

省エネ型設備機器の更新や建築時のエネルギー対策の徹底により消費エネルギーを徹底する。

2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容・場所	主体・時期
<p>省エネ機器等購入費補助 省エネ性能5つ星の家電購入について、助成や環境ポイントの付与を行う。</p>	<p>主体：区、区民 時期：平成24年度から購入費補助がスタート。環境ポイントの仕組みづくりは今後検討する</p>
<p>エネルギー使用量「見える化」の推進 電気使用量等の「見える化」を行う。特に設備が建物全体で共有でき、導入が実施しやすく、効果も大きいと考えられるため、集合住宅への導入促進を図る。</p>	<p>主体：区、事業者、区民 時期：新築、改築時におけるインセンティブと環境整備基準での指導を検討する</p>
<p>建築物新築時エネルギー対策を促す仕組み 建物の燃費を表示するエネルギーパスや住宅性能評価制度など、建物のエネルギー効率の評価が一部の自治体での導入されている。この制度を区内の建物で導入することを検討する。</p>	<p>主体：区、区民、建築関係事業者 時期： の取組みと同時期に建築物エネルギー対策ガイドラインを見直す</p>
<p>公共施設や大規模事業者でのデマンドレスポンス導入 電力調達方法の工夫やBEMSの導入により、節電とコスト削減につなげる。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：平成25年度から足立清掃事務所でモデル実施し、効果があったため、区施設における導入を推進していく。</p>
<p>省エネリフォームの支援 の建築物新築時に加え、リフォーム時のエネルギー性能向上を支援する。耐震補強との連携も検討する。</p>	<p>主体：区、区民、事業者 時期：耐震補強や住宅改修時のエネルギー対策を支援する。</p>

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)

【エ】再生可能エネルギーの活用

2- . 取組方針

再生可能エネルギーの導入を拡大し、化石燃料に由来するエネルギー使用を減らし、エネルギーの低炭素化を進める。

2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容・場所	主体・時期
<p>太陽エネルギー導入補助 補助金等により区内での太陽光発電や太陽熱温水器等の設置を推進する。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：太陽光は平成15年、太陽熱は平成21年度からすでに実施中</p>
<p>区内事業者と連携したそらつな制度の拡充 太陽光発電システムについて、区内事業者登録制度「そらとつながるお店(そらつな店)」を実施し、安心とより良いサービスを提供している。そらつな店を増やし、太陽光発電の普及と区内の電気事業者の振興を図る。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：現在22店舗が登録。更なる充実を目指す</p>
<p>公共施設への太陽エネルギー率先導入 区の施設へ太陽光発電や太陽熱利用を率先的に推進し、公共施設からCO2排出量の削減を図る。</p>	<p>主体：区 時期：公共施設整備基準に基づく太陽エネルギー導入検討を施設建築時などに実施する</p>
<p>建物建築時の再生可能エネルギー導入検討の義務付け 【ウ】 の取組みと合わせて、建築物の新築時に再生可能エネルギーの導入可能性について検討することを義務付ける。</p>	<p>主体：区、区民、事業者 時期：建築物エネルギー対策ガイドラインの見直し時期に合わせて検討する。</p>

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)	
【オ】エネルギーの効率的な利用とまちづくり	
2- . 取組方針	
エネルギーを効率的に利用する機器、仕組みの拡大や、新たなまちづくりにおけるスマートタウン化を進める。	
2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項	
取組の内容・場所	主体・時期
科学技術振興機構低炭素社会戦略センターと行っている実証試験の発展 現在約30世帯の家庭に電気使用量を測定できる機器を設置し、収集したデータを分析し、節電のための効果的な施策を研究している。ここで得られたデータを活用し、実際に区内での電気使用量削減に資するための具体的手法の検討を行う。	主体：区、区民、LCS 時期：平成26～28年度の実証実験データに合わせて、方策を検討する
家庭用燃料電池設置費補助 家庭用燃料電池エネファームを設置した区民に補助金を支払いエネルギーの効率的な利用を促進する。	主体：区、区民 時期：すでに実施中
大規模施設へのコージェネレーション導入促進 大規模施設へのコージェネレーションの導入を促進し、エネルギー利用の効率化を図る。	主体：区、事業者 時期：一定規模以上の大規模施設での検討を要請する
大規模都市更新時のエネルギーの面的利用 再開発などの大規模都市更新時において、エネルギーを面的に効率よく使う「スマートタウン」の導入を目指す。	主体：区、事業者 時期：一定規模以上の大規模開発での検討を要請する
集合住宅の大規模修繕時におけるエネルギー効率化 個々のエネルギー対策が難しい集合住宅において、大規模改修時に省エネやエネルギーの効率的に利用する改築を促す。	主体：区、区民、事業者、団体 時期：【ウ】 の省エネリフォームの施策と合わせて検討する。

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)

【カ】交通の低炭素化

2- . 取組方針

充実した公共交通、平坦な地形を活かして、交通の低炭素化を図る。

2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容・場所	主体・時期
<p>公共交通の利便性の向上 鉄道高架や道路や駅前広場の整備、運行ダイヤや運賃制度などハード・ソフト両面から公共交通の利便性を高める。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：交通事業者と連携して利用しやすい公共交通網を整備していく</p>
<p>自動車から自転車利用への転換 自転車レーンの整備により、自動車からの利用転換を促す。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：道路や駅前広場の整備に合わせて、自転車の利用環境を整備する</p>
<p>レンタサイクル、カーシェアリングの実施 電気自動車のカーシェアリング等の形で貸出を行い、マイカー利用を抑制する。また、レンタサイクルを拠点間で乗り捨て可能とし、交通の一翼を担わせ、自動車を削減する。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：3拠点(竹ノ塚、舎人公園、大師前)でのコミュニティサイクルを導入済み。EVカーシェアリングについても仕組みづくりを検討中</p>
<p>公用車の削減とEV、PHEV化 原則として、自転車の活用と公共交通機関の利用を徹底する。その上で荷物の運搬などについては、電気自動車(EV)化を進める。また、災害時には移動可能な電源としても活用可能なように、公用車EV活用を組み込んだ防災体制等の検討を行う。</p>	<p>主体：区 時期：平成27年度以降、導入・拡大を目指す</p>
<p>運送事業者の車両の低炭素化 運送事業者がEV等の導入を促す仕組みを検討する。また区内に充電設備の設置を進めるとともに、企業が充電設備を設置する場合の補助金等の優遇措置等を行う。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：民間事業者公募に向けた方策の検討</p>
<p>福祉施設の車両の低炭素化 高齢者施設などの送迎に用いる車両は、比較的近距離を移動するためEVの導入支援を図る。また、訪問介護等では、超小型モビリティが適していると考えられるため、これについても、メーカーの協力で実証実験を行い、導入可能性について検討する。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：平成27年度に環境基金を活用した実証研究を公募する</p>

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)

【キ】資源循環型社会の構築

2- . 取組方針

廃棄物、リサイクル関連事業者が多い地域特性を踏まえ、より一層のごみ減量と、資源化を進める。

2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容・場所	主体・時期
<p>レジ袋、過剰包装の削減 区民・事業者等を巻き込んでマイバッグ運動や包装の簡素化などを進め、ごみ量を減らす。事業者、消費者ともにごみ減量の動機づけとなる仕組みを検討する。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：すでに実施。今後も拡大していく</p>
<p>分別ルールの周知徹底 燃やすごみの中に15%程度。資源として出されるべきものが混ざっている。講座や学習会、イベントなどで区民向けにわかりやすく啓発する。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：事業者や団体の協力を得ながら今後、講座や学習会を実施する</p>
<p>廃棄物・リサイクル施設の見学会 区内に多くのリサイクル事業者が存在する特色を活かし、ごみや資源循環に対する関心を高めるため、清掃工場やリサイクル関連施設の見学会を実施する。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：事業者や団体の協力を得ながら実施する</p>
<p>事業者と連携した資源化品目の拡大 すでに燃やさないごみの90%を再資源化しているが、さらなる資源化、再生資源活用の方法などを事業者と連携して進めていく。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：事業者の協力を得ながら随時実施する</p>
<p>ごみ再資源化の推進 事業者と連携し、区民には徹底した分別を行い、収集方法を工夫して、より一層の資源化を進める。</p>	<p>主体：区、区民、事業者 時期：事業者の協力を得ながら随時実施する</p>
<p>木製家具の再資源化 粗大ごみとして出された木製家具を分別し、建設用資材（パーティクルボード）として再利用する。</p>	<p>主体：区、事業者 時期：平成26年度から全国に先駆けて実施している</p>

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)

【ク】区内ではできない活動の連携

2- . 取組方針

区内では難しい地球環境の保全に寄与する活動を他の地域と連携して推進する。

2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容・場所	主体・時期
<p>バイオマスや小水力など再生可能エネルギーの拡大 区内では難しい太陽以外の再生可能エネルギーを他の自治体で導入または支援する。</p>	<p>主体：区、事業者、団体、他の自治体、 時期：平成27年度以降に検討</p>
<p>自然体験型環境学習の実施 区内では難しい自然や林業、里山の体験を友好自治体等において、小中学生などを派遣し、自然体験学習の機会とする。</p>	<p>主体：区、他の自治体 時期：平成27年度実施に向け、事業検討中</p>
<p>里山や生物多様性の理解促進 森林整備や自然観察などにより、区内では体験できない里山環境や、生物多様性を直に体験し、学習することで、区民が環境問題に対する理解を深める機会としてもらう。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、他の自治体 時期：平成27年度実施に向け、事業検討中</p>
<p>カーボン・オフセットの推進 イベントなどで制度で認証されたオフセット・クレジットを活用するカーボン・オフセットを行うとともに、友好自治体等で区民が実際に森林整備した環境貢献を「見える化」する「自主的カーボン・オフセット」も実施する。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、他の自治体 時期：平成25年度以降、実施してきたがさらなる充実を行う</p>
<p>区民ファンドによる活動支援 ファンドを設立して区民から出資を募り、森林整備や再生可能エネルギーなど区内ではできない事業に貢献し、収益を出資者に配分する。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、他の自治体 時期：仕組みづくりを検討中 公共施設での実施の検討 友好自治体（3市）</p>

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)

【ケ】安心・安全で持続可能な都市へ

2- . 取組方針

災害時の安心・安全の確保とすでに表れ始めている気候変動の影響に適応する中長期的な取組を行う。

2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容・場所	主体・時期
<p>避難所への太陽光発電と蓄電池への導入 太陽光発電と蓄電池を設置し、地震等の大規模災害時の独立電源を確保する。</p>	<p>主体：区 時期：防災計画にあわせて、避難所の整備の中で検討していく</p>
<p>公園ソーラー灯の導入 公園の防犯灯や街路灯などにソーラー灯を導入し、地震等の大規模災害時にも必要最小限の明かりを確保する。</p>	<p>主体：区 時期：防災計画や公園整備、街路灯の整備計画にあわせて検討していく</p>
<p>ゲリラ豪雨など極端な気候による災害への対策 気候変動により中長期的に極端な気象現象が多発することが予想される。特にゲリラ豪雨による水害対策や、ヒートアイランド対策も兼ねた夏の暑さの緩和対策を強化する。</p>	<p>主体：区、事業者、団体 時期：防災計画や緑化、水辺空間の整備計画にあわせて検討していく</p>
<p>夏の暑さ、熱中症対策 気候変動により、暑い期間が長期化や、熱波による影響も見込まれる。また、気候の変化に対応することが難しい高齢者の増加により、熱中症などの健康被害の増加が危惧される。適切なエアコン使用の推奨や涼しい場所でみんなで過ごす「クール街」制度、地域の見守りなど、ハード・ソフト両面から対策を進めていく。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：庁内各部と連携して進めていく</p>

2. 取組内容 (取組内容の整理にあたっては「1- - 削減目標の達成についての考え方」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。)

【コ】環境対策と健康づくり、地域交流の取組み

2- . 取組方針

環境対策による副次的な効果を意識した取組みを推進する。

2- . 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容・場所	主体・時期
<p>自転車ルールの徹底と健康づくり 環境対策として実施する自転車の利用促進に合わせて、運動習慣として自転車の利用を推奨し、健康づくりも行う。さらに自転車を安全に利用できるようにルール順守を徹底する。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：庁内各部と連携して進めていく</p>
<p>介護予防事業「パークで筋トレ」の拡大 介護予防事業として実施されている「パークで筋トレ」を拡大し、公園を拠点として、地域を知り、地域の交流を促進し、美化活動やリサイクルなど環境活動につなげていく。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：庁内各部と連携して進めていく</p>
<p>環境整備によるウォーキング人口の拡大 公園や河川敷等歩く環境を整備し、まちを歩くことにより、健康づくりとまちに愛着と誇りを持ち、地域のネットワークづくりや活性化を図る。その延長で美化活動やリサイクルなど環境活動につなげていく</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：庁内各部と連携して進めていく</p>
<p>ベジタベライフによる健康づくり 現在、進めている野菜中心の食生活を進める「ベジタベライフ」による健康づくりを拡充し、農業や自然環境保全につなげ、環境に対する意識の高い消費者につなげる。</p>	<p>主体：区、区民、事業者、団体 時期：庁内各部と連携して進めていく</p>